



つながぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和5年7月14日

第20号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

第三中学校区 小学6年生中学校登校の実践 ～系統的な指導に生かす、協働体制を大切に～

6月20日（火）に第一小の6年生2クラスが第三中へ中学校登校を行い、中学校の先生の国語科と数学（算数）科の授業を受けました。

国語科の授業内容は俳句で、課題は「これまで学習したことをフル活用して俳句を読み取ろう」でした。高浜虚子の「七月の蝌蚪が居りけり山の池」の俳句を題材に、「蝌蚪」の読み方や何のこたかを考えていきました。子どもたちは小学校で既に俳句を学習しており、「五七五」の音の数から「蝌蚪」が2音となること、漢字の成り立ちで学習した「形声文字」を思い出し、漢字の中にある「科」と「斗」から「か」と読むこと、「蝌蚪」は「おたまじゃくし」のことであることを順番に学習していきました。また、俳句の情景や作者の感動を読み取りながら、「季重なり」となっている「七月」と「蝌蚪」のどちらを季語とするかを考えていきました。子どもたちは、課題の解決に向けてこれまで学習したことをもとにして生き生きと学習していました。



国語科の授業「俳句」

数学（算数）科の授業では、6年生が小学校で学習してきた「分数」の知識や技能を使って、高校や大学で学ぶ「エジプト分数」や「連分数」に関する問題を考えていく内容でした。初めて見たり聞いたりする式や言葉があり、難しい内容ではありましたが、国語の授業と同じように小学校で学習したことを駆使して、提示された問題の解決に意欲的に向かっていく子どもたちの姿が素晴らしかったです。学習を通して無限に続いていく数の不思議さや算数と数学の違い・つながり等を実感したように思います。また、黙々と問題解決に取り組む姿から、いつも小学校で真剣に学習に取り組んでいる様子がありました。



数学科の授業①「分数」

6月22日（木）には、いずみ野小と北光小の6年生が中学校登校を行い、中学校の先生の授業を受けたり、一緒に給食を食べたりする等の体験をしました。初めに、校舎内の見学と授業参観を行いました。子どもたちは、中学生が発表する様子や黒板に書かれている内容を興味深く見ていました。知っている先輩を見つけて笑顔が少し見えた瞬間もありました。

数学（算数）科の授業では、初めに、直近で実施された中学1年生の中間テストに出題された問題に挑戦しました。「 $7 \circ 7 \circ 7 \circ (7 \circ 7) = 1$ 」の○の中に「+、-、×、÷」を入れる問題でしたが、子どもたちは、クイズを解くように楽しそうに問題に取り組みました。その後は、第一小の時と同じように、「エジプト分数」について学習していきました。「分数をなぜ使うようになったのか。」「いつごろから使われるようになったのか。」等について、実際の分数の問題を解きながら学習していきました。



中学生の学習の様子を参観

今回の数学(算数)科の体験授業は、小中の先生方で話し合い、第三中学校区の数学(算数)科の「系統的な指導」の重点である「分数」に焦点をあてて計画を立案しました。小学6年生の子どもたちは、体験授業を通して、算数科から数学科へのつながりや、学んだことを日常生活に生かしていくことの大切さ等を実感し、中学校での学習への期待を持てたことと思います。

特別支援学級の第三中「あすなる学級」といずみ野小「まきば学級」では、体育科や総合的な学習の時間、家庭科の合同学習が行われました。初めに、体育科ではころがしドッジボールやミニバレーボールをしました。中学生の子どもたちが小学生に優しく声をかける様子が見られ、一緒に楽しく体を動かしていました。午後からの授業では、中学3年生の修学旅行のまとめの発表を聞いたり、家庭科の裁縫に取り組んだりしました。小学6年生の子どもたちは、2時間の授業を通して貴重な体験をしたことと思います。

昼食はいずみ野小と北光小と一緒に給食を食べました。第三中学校区で食育指導を行っているいずみ野小の栄養教諭の先生が来校して給食指導をしてくださったので、いつもより短い時間で配膳等を終え、交流しながら楽しい時間を過ごすことができました。

5校時は、いずみ野小の6年生の担任の先生が道徳科の授業を行い、第三中の先生方が授業を参観しました。「信頼・友情」の内容項目の題材を読み、グループで対話しながら「本当の友達とは何か」を深く考えていく学習でした。北光小の子どもたちにとっては、普段よりも大きな集団で意見交換をしたり、自分の発表をしたりする等、中学校に向けて貴重な経験となったと思います。

第三中学校区では、昨年度から企画推進会議や合同研修会を複数回開催し、学校間の連携を大切にして各種の取組を進めてきました。今回の取組では、さらに、6名の小中学校の先生方が体験授業等の指導を行い、他の先生方も当日の進行や授業参観を行う等、昨年度以上に協働体制を大切にして取組の改善を図っていました。子どもたちにとって充実した中学校登校となりました。



数学科の授業②「分数」



特別支援学級(あすなる学級とまきば学級)の合同授業



協力して給食配膳



小学校の先生の道徳科の授業

生徒や来校者に情報発信

【6年生の子どもたちの声】

- 俳句でも、想像力を働かせると、色々なくわしいことや細かいところまで分かるんだなぁと思いました。また、人の意見を「なるほどなぁ」と思うことが大切だと分かりました。
- 最後の連分数がすごく難しかったです。先生にヒントをもらいながら正解できてよかったです。
- 今日は、日常で使っている分数やエジプト(式)分数等を学びました。いつもは考えないことや、初めて知る言葉がたくさんあり、楽しかったです。平等に分けるというエジプトの考えは「確かに」と思いました。エジプトに行ってみたくなりました。
- 分数にも、その国でのやり方があることが分かりました。特に、エジプトから分数が使われたことにびっくりしました。これからも分数のことを、もっと知りたくなりました。



各校の学校便り等の
掲示コーナー

他にも、中学校区の小中一貫教育グランドデザインやスタンダード等を玄関前に掲示して、来校者が小中一貫教育の取組を知ることができるようにしています。